

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立浜松特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立浜松特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	317人

1. 使用状況

寄贈物品名	大型気化熱冷風機
使用学年及び人数	小学部1年生から高等部3年生まで 317人
使用頻度	6月から10月まで
使用状況	<p>気温や湿度が上昇して活動に支障をきたす日に、空調設備のない体育館とプレイルームにて使用した。</p> <p>体育館では、体育の授業や部活動、1学期終業式と2学期始業式等の式典、集会等の時間に、幅広く活用した。</p> <p>プレイルームでは、主に、小学部の児童の「生活単元学習」の授業や昼休みの自由遊びの際に使用した。暑さにより体温が上昇しやすい児童や不機嫌になり活動に集中できない児童にとっては、活動しやすい環境を設定することができ、児童が集中して取り組む充実した授業の実践ができた。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>本校では、グラウンド及び空調設備のない体育館とプレイルームにおいて、授業前に熱中症指数(WBGT)を測定している。気温と湿度が高い時間帯には、屋内においても既定の数値を超える場合があり、授業場所を空調設備のある教室に変更し、学習内容も変更せざるを得ない場合があった。</p> <p>冷風機の設置以降、体育館やプレイルーム内の空気を循環させ、涼しい風を送ることで安全に授業が実施できるようになり、計画した学習を予定通り実施することが可能になった。</p>
今後の活用の見通しや課題	今年度、夏季において体育館で1台、プレイルームで1台使用した。体育館では、2か所に設置できると、さらに環境面が整うと考える。
その他希望や所感など	<p>本校には、体温調節の難しい児童生徒や暑さによりてんかん発作を誘発する児童生徒が在籍しており、夏季に学習環境を整える際には、室温管理が欠かせない。特に近年は、夏季の気温上昇が激しく児童生徒の体調管理に細心の注意を払っている。</p> <p>そのような中で、大型気化熱冷風機を寄贈いただいたことは、大変有難い。次年度以降も有効に活用していきたい。</p>

2. 活用の様子



小学部3年 音楽
「 リトミック 」



中学部1年 体育
「 体づくり運動 」